



あぐい

第189号

令和3年5月1日発行

議会だより



P2~P4 令和3年度 予算と主な事業



P5~P7 第1回~第3回臨時会・第1回定例会



P8 政治倫理審査会報告・固定資産評価審査委員会委員



P9 常任委員会レポート



P10~P13 「3月定例会」一般質問



P14 「SDGs」とは？



マチイロ

まちを好きになるアプリ

自治体と地域住民をつなぐアプリ
「マチイロ」に「あぐい議会だより」
を掲載しています。

93億900万円

(前年度比12.5%減)

の使い道



新 新型コロナウイルス
感染症予防事業
1,002万円



新 GIGAスクール構想
推進事業
1,602万3千円



新 町立保育園運営事業
保護者連絡アプリ導入
79万2千円



新 災害対策事業
防災マップ作成等
556万4千円

令和3年度一般会計予算は、93億900万円で、前年度より12.5%減額予算となった。減額の要因は、新学校給食センター建設事業と防災行政無線デジタル事業を完了したことによる。

今年度は、「いのちを守るまちづくり」に主眼を置き、新型コロナウイルス感染症予防対策、災害対策、交通安全対策を積極的に進める。

また、第6次阿久比町総合計画の初年次として、目標に基づく予算が編成されている。

一般会計予算

新年度予算



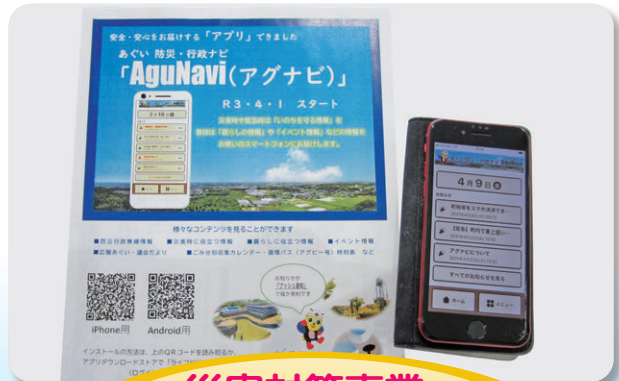
**阿久比スポーツ村
整備事業**
4,401万円



新 きょうりょう
橋梁長寿命化事業
道路橋定期点検
1,851万9千円



新 シティプロモーション推進事業
あぐいのあゆみリニューアル
777万5千円



災害対策事業
防災行政アプリ
AguNavi (アグナビ) 運用開始
(4月1日より運用)
66万円

その他主な新規事業

- オアシスセンター整備事業 1,088万5千円
- もちの木園整備事業 1,232万円
- 小・中学校環境整備事業 4,865万3千円
- 図書館整備事業 1,550万3千円
- コミュニティ活動推進事業 2,886万3千円
- 基幹システムクラウド化事業 2,779万2千円

阿久比町には、3つの特別会計と2つの企業会計があります。

特別会計は、一般会計と経理を切り離して特定の事業を行う場合に、条例を制定して設置できます。

令和3年度当初予算額とともに、各会計を解説します。



国民健康保険特別会計 23億6,490万3千円

国民健康保険（国保）制度の 運営に関する費用

主 な 財 源：国保税、国からの負担金
主な使い道：国保加入者の医療費や後期
高齢者支援金



後期高齢者医療特別会計 4億176万6千円

後期高齢者医療制度の 運営に関する費用

主 な 財 源：後期高齢者医療保険料
主な使い道：愛知県後期高齢者医療広
域連合への納付金

※後期高齢者医療制度の運営は、広域連合と
阿久比町で協力して行っている。



介護保険特別会計 20億4,423万3千円

介護保険制度の運営に関する費用

主 な 財 源：介護保険料、国などから
の交付金
主な使い道：介護保険サービスの
費用



水道事業会計(企業会計) 6億3,428万1千円 (支出ベース)

水道事業に関する費用

主 な 財 源：水道料金
主な使い道：愛知県から水を購入する
費用や、水道施設の
新設・維持管理費用



下水道事業会計(企業会計) 8億6,558万6千円 (支出ベース)

公共下水道及び流域下水道の 整備や維持管理に関する費用

主 な 財 源：下水道使用料、一般会計
繰入金
主な使い道：下水道施設の維持管理費
や、借金返済

令和3年第1回臨時会

議決内容

会期／1月28日

議案／補正予算1件

○ 賛成 × 反対 — 議長 欠 欠席

番号	件名	大村文俊	小柳みゆき	都築清子	新美三喜雄	竹内卓美	山本和俊	石川英治	山本良輔	渡辺功	山本恭久	澤田道孝	竹内強	久保秋男	瀧塚政明	結果
議案 1	令和2年度阿久比町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決

令和3年第2回臨時会

議決内容

会期／2月8日

議案／補正予算1件、報告1件

○ 賛成 × 反対 — 議長 欠 欠席

番号	件名	大村文俊	小柳みゆき	都築清子	新美三喜雄	竹内卓美	山本和俊	石川英治	山本良輔	渡辺功	山本恭久	澤田道孝	竹内強	久保秋男	瀧塚政明	結果
議案 2	令和2年度阿久比町一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
報告 1	専決処分の報告について（和解及び損害賠償について）	報告は賛否を採らない。														

令和3年第3回臨時会

議決内容

会期／2月22日

議案／補正予算1件

○ 賛成 × 反対 — 議長 欠 欠席

番号	件名	大村文俊	小柳みゆき	都築清子	新美三喜雄	竹内卓美	山本和俊	石川英治	山本良輔	渡辺功	山本恭久	澤田道孝	竹内強	久保秋男	瀧塚政明	結果
議案 3	令和2年度阿久比町一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決

令和3年第1回定例会

議決内容

会期／3月8日～23日

議案／条例等 8 件、補正予算 6 件、当初予算 6 件、同意 2 件

可決

阿久比町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

提案理由：公職選挙法の改正に伴い、阿久比町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担の範囲を定めるため。

可決

阿久比町森林環境譲与税基金条例の制定について

提案理由：森林の整備及びその促進に関する施策に要する経費の財源に充てることを目的として、森林環境譲与税を原資とする基金を設置するため。

可決

令和3年度
阿久町
一般会計予算

賛成討論

竹内 卓美 議員

「いのちを守るまちづくり」に主眼をおいた令和3年度阿久比町一般会計予算は、新型コロナウイルス感染症から町民の生命、健康を守り、また、巨大地震などの災害発生に備え、町民の生命、財産を守ることを目的に編成されている。

子育て、教育への施策では、GIGAスクール構想の実現に向け、児童・生徒ひとり1台端末の整備がはかられ、また、学校・保育園に保護者用の連絡アプリが導入されるなど、デジタル化によるコロナウイルス感染症対策が図られている。

このように、数多くの事業が計画され、町民が安全で、安心して暮らせるよう配慮された予算編成であると評価する。

SDGs講演会を受講

1月30日に知多人材・志事スクール推進ネットワーク事務局がオンラインで開催した「SDGsの歴史的意義と地方創生に向けて」（講師 戸成司朗氏）に議員が参加した。自宅・役場での受講となった。SDGsの世界観「世代を超えて、すべての人が自分らしく生きられる社会」を理解すること。地域の伝統を大切に時代の変革期を乗り越えていくことを話された。「今こそ原点、今こそ未来を」を胸に、阿久比町の発展のために寄与する事を再確認した。



オンラインでの講演会に初参加

令和3年第1回定例会

○ 賛成 × 反対 — 議長 欠 欠席

番 号	件 名	大 村 文 俊	小 柳 み ゆ き	都 築 清 子	新 美 三 喜 雄	竹 内 卓 美	山 本 和 俊	石 川 英 治	山 本 良 輔	渡 辺 功	山 本 恭 久	澤 田 道 孝	竹 内 強	久 保 秋 男	瀧 塚 政 明	結 果
4	阿久比町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
5	阿久比町森林環境譲与税基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
6	阿久比町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
7	阿久比町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
8	阿久比町消防団条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
9	阿久比町立障害者福祉施設の管理に係る指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
10	阿久比町立老人憩いの家の管理に係る指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
11	阿久比町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
12	令和2年度阿久比町一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
13	令和2年度阿久比町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
14	令和2年度阿久比町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
15	令和2年度阿久比町水道事業会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
16	令和2年度阿久比町下水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
17	令和3年度阿久比町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
18	令和3年度阿久比町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
19	令和3年度阿久比町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
20	令和3年度阿久比町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
21	令和3年度阿久比町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
22	令和3年度阿久比町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
23	令和3年度阿久比町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	可決
1	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	同意
2	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	—	同意

政治倫理審査会報告

小柳みゆき議員の政治倫理基準遵守義務違反

経 過

小柳みゆき議員の議会の品位を失墜させた行動について、政治倫理審査請求書が提出された。審査会においては、審査請求者から請求の内容を確認。また、審査対象議員の弁明を聴取し、事件の内容を把握し、政治倫理に関する事項について慎重に審査を実施した。

審査の結果、審査対象議員である小柳みゆき議員は、阿久比町議会議員の政治倫理に関する条例第2条（議員の責務）第3条第4号（政治倫理基準）に抵触しているとの意見で全会一致した。

以上により、条例第15条第4項に基づく審査会が必要と認める対象議員への措置として、「公開の場における戒告」及び「議会だよりへ戒告文を掲載すること」を勧告すると決定。

令和3年3月23日火曜日 本会議にて委員長報告

戒 告 文

小柳みゆき議員は、令和2年7月22日に開催された阿久比町青少年問題協議会を無断欠席したにもかかわらず、令和2年8月19日開催の議員懇談会の席上、この協議会に欠席したことを発言せずに、出席したかの如く報告を行ったこと。

また、令和3年2月17日開催の議員懇談会を無断欠席したこと。さらに、その他の会議体にあっても遅刻をしたこと。

これらの行動と発言は、議会の品位を著しく失墜させたものであり、阿久比町議会議員の政治倫理に関する条例第2条（議員の責務）及び第3条第4号（政治倫理基準）に抵触する行為である。

これらのことは、議員の職分にかんがみ、まことに遺憾である。

よって、阿久比町議会議員の政治倫理に関する条例第15条第4項の規定により戒告する。

また、小柳みゆき議員に対し、議会の品位を保つ一議員としての再認識を強く求めるものである。

令和3年3月10日

阿久比町議会政治倫理審査会

委員長は、阿久比町議会議員の政治倫理に関する条例の「議員の責務」と「政治倫理基準」に抵触することがないように、「全ての議員が今一度『政治倫理』について再認識し、議会の名誉と品位を守り、町民の信頼に応えるよう議員相互が注意喚起に努めることが大切である」と報告した。

固定資産評価審査委員会委員

同意

(新任) ^{もり} 森 ^{ひで お} 英夫 氏 (草木)

(再任) ^{たけ うち} 竹内 ^{かん じ} 寛司 氏 (白沢)

常任委員会レポート

3月15日に総務建設委員会を、16日に文教厚生委員会を行い、それぞれの委員会に付託された議案の詳細な説明を受け、質疑を行った。主な質疑は次のとおり。

総務建設

阿久比町森林環境譲与税基金条例の制定

問 具体的な運用。

答 今年度は、英比小学校の下駄箱・保育園の積み木を国産材の物を購入予定、来年度は幼稚園の積み木を購入予定など。

令和3年度阿久比町一般会計予算

問 菊花展補助金が妥当とする根拠。

答 団体の平成30年度と令和元年度の帳簿を確認したところ、補助金の基準から外れている内容があったため。

問 例えば、飲食や記念品の一部が対象にならなかったのか。

答 食糧費については、自己負担分、参加費・記念品については使途が不明瞭なものもあるため、引き続き調査して報告する。

問 飲食に関して、今更なせ問題になるのか

答 監査に基づいた決算書が出され、町がチェックしていると思うが、会計1名と監事2名の方は町議会議員、議員経験者であり、ここまで乱れていることは残念に思う。

問 各地区も大変な予算をかけている中で、補助金はどうあるべきか。

答 役員はじめ皆さんの苦勞は承知している。引き続き、菊花展を実施していただきたいが、参加賞については内容を検討いただきたい。

問 補助金を受けている団体の役員を、町議会議員が就任していることはどうか。

答 町の規定はない。

問 交通安全施設事業費町道2204号線工事内容。

答 歩道舗装と水路への転落防止柵設置。

令和3年度阿久比町水道事業会計予算

問 水道事業経営戦略で、令和7年度からの料金見直しで、5年間で資金残高6億円以上を確保との説明だが、令和3年度は耐震性をリスクヘッジしているか。

答 特に重要な路線から老朽化対策として、耐震対策にもなる改良工事を実施していくので、リスクヘッジはされている。

(竹内 卓美 議員)

文教厚生

阿久比町障害者福祉施設の管理に係る指定管理者の指定

問 同法人が運営する施設内で虐待事件があったが、引き続き指定する理由。

答 運営状況等を検証。同様の事件も無く利用者の就労状況や労働条件など良好な運営と評価。「利用者の心理状態を最優先に考えると環境の変化は避けたい」など、保護者代表や有識者からの意見を参考に継続を決定し提案。

令和3年度阿久比町一般会計予算

問 学校選択制地区の見守り隊が予算化されていない理由。

答 令和2年度は学校選択制を初めて導入したためシルバー人材センターに委託し、見守りを行なった。

学校とも話し合い令和3年度からは「自助・共助の精神」で、保護者・地域の方でお願いしたい。

問 自立支援介護給付事業、約3億5千万円の予算額が前年度比約5千万円増加の理由。

答 近年は重度訪問介護において非常に高額なものもあり年々増加傾向にあるが、サービスの充実、不自由のない自立支援に努めたい。

令和3年度阿久比町介護保険特別会計予算

問 第8期阿久比町介護保険事業計画で第1号被保険者の介護保険料を月額4千780円とする根拠と算定式。

答 令和3年度から向こう3年間の給付費の総額を想定される第1号被保険者の数で割ったもの。

問 この保険料の決定により基金からの繰り入れは。

答 3億4千万円程ある準備基金から今回、1億7千万円程を切り崩し財源に充当することで、保険料の据え置きが維持できている。

問 基金を切り崩して保険料を据え置く判断基準。

答 第8期計画の策定にあたり、県の指導を受け、ほぼ7期で積み立てた分を切り崩している。

(小柳 みゆき 議員)

ここが
聞きたい

一般質問

町政を問う

今議会では、3月9日(火)に、3人の議員が一般質問を行いました。
一般質問は、町政全般にわたって、執行機関（町側）に疑問点をたずねるものです。
事前に議長に通告した内容を、受付順に本会議場で質問します。
持ち時間は町側の答弁を含め1人60分です。
次のページから、本会議場での質疑の概要を1人1ページで、掲載しています。

発言時間 60分

ページ	議員名	質問項目
11	都築 清子	1. GIGAスクール構想 2. 命を守る交通安全施策
12	久保 秋男	1. 予算編成の基本指針 2. ワクチン接種

ページ	議員名	質問項目
13	新美三喜雄	1. 国土強靱化計画 2. 町政の充実と住民サービスの向上 3. 国が推進するGIGAスクール

今回の傍聴人数 延べ **16人**

答弁者



総務部長



民生部長



建設経済部長



教育部長



各議員が質問した記事に関連するSDGsの目標アイコンが掲載されています。

小中学校のGIGAスクール

課題を整理し方向性を示す



都築 清子 議員
(公明党)

**令和3年度から小中学校
校ひとり1台のタブレット
端末が整備され、教育
現場で時代の変革期を迎
えている。**

問 環境整備の進捗状況。
答 校内通信ネットワ
ーク環境と児童・生徒ひ
とひとり1台のタブレット端
末の整備は完了した。

問 学校生活の中で特に
大きく変わる場面。

答 インターネットを
利用し、調べ学習のスタ
イルが大きく変わる。

目的に応じた様々な情報
収集、整理や分析ができ
多くの授業で活用できる。

問 ICTを活用した学
習で子どもの特性に適し
た学びの見解。

答 一人ひとりの学習
履歴がデータで記録でき、
学習状況に応じた個別学
習が可能。

データを継続的に収集、
蓄積、分析することで、
子どもたちが自ら学習の
振り返りに活用でき、個
別に最適化された学びを
行うことができるため、
研究を進めていく。

問 不登校児童・生徒に
対しオンライン学習で一
定の基準をもうけ出席扱
いできないか。

答 解決しなければなら
ない課題が多くある。

出席扱いについては課題
を、一つずつ、解決した
うえで考えていく。



命を守る交通安全施策 ヘルメット購入費補助制度準備

**県の令和3年度新規事
業に「自転車乗用の安全で適
正な利用を促進するため、
条例を制定し取り組みを
強化」とある。この事業
についての考えと、これ
までの交通安全施策。**

問 自転車乗用ヘルメ
ット着用推進補助金事業
についての見解。

答 県は7歳〜18歳ま
での児童・生徒等及び65
歳以上の高齢者を対象に、
自転車乗用ヘルメットの
購入補助制度の導入に
向けた準備をしている。

示された補助要件を精
査し、県と協調しながら
補助制度に係る補正予算
を計上し進める。

問 県道、町道の安全対
策の調査結果後、安全施
設設置場所と具体的内容。

答 国の調査条件が示
され、これまでの定例会
で報告した12力所すべて
が非該当。

新たに抽出した21力所
の安全対策は令和元年度
と令和2年度で実施完了。
非該当になった所のうち、
県道は県へ要望し町
道は通学路や歩道利用状
況、交差点形状などを総
合的に判断し安全対策が
必要な所は対応していく。

問 中学1年生の自転車
通学指導の時期と内容、
その効果。

答 毎年2月に行う小
学6年生対象の交通安全
教室と入学直後の通学団
会で指導を行う。

登下校の交通事故の報
告は、過去2年でそれぞ
れ5件。交通安全教室や
指導に効果が出ていると
考える。

問 県は今年10月1日か
ら自転車損害賠償責任保
険加入が義務化。これに
ともなう加入促進の施策。

答 自転車損害賠償責
任保険等については、町
広報やホームページ、交
通安全教室等を通じて加
入促進の啓発に努める。

県が実施する施策と歩
調を合わせながら制度の
周知をする。



中学生の7割が自転車通学



久保 秋男 議員
(済和会)

予算編成

重点施策の取捨選択

コロナ禍で景気後退の
急激な変化により、財政
は厳しい状況と推測する。

問 予算編成の骨格。

答 町長 新型コロナウイルス

イルス感染症の影響による町税収入の減少、社会保障関係経費の増加、公共施設等の老朽化等により財政状況が厳しい中、経費の見直し、事業の取捨選択等、限られた予算を効率的に配分し編成。

問 重視した施策。

答 町長

新型コロナウイルス感染症対策

- ・ タッチレス消毒器等の購入
- ・ 町立幼・保育園の自動水栓の整備等
- ・ 災害対策本部行動指針

- ・ 新しい防災マップの作成
- ・ 交通安全対策
- ・ 道路舗装不良の改善
- ・ 一歩行者優先のまち宣言

問 健康寿命を守る対策

答 町長

・ スポーツ医・科学研究所を購入等
「いのちを守るまちづくり」に主眼を置いて編成した。

問 健全な財政運営。

答 総務課

財政調整基金の取り崩し、地方債の発行をおさえ、引き続き効率的な行政運営に努め、収支均衡を図っていく。

問 子育て支援、社会保険、福祉医療等は地方負担が今後大幅増と予測。

答 町長

子育て支援の保育給付は、当分横ばいで推移すると見ている。

社会保障、福祉医療は、高齢化の進行、医療の高度化等、給付の増加が見込まれるが、各種の健康増進施策を推進し、適正な給付確保と負担のバランスを考慮し、適切な事業運営に努める。

老朽施設の長寿命化を図ることが今後の課題。

問 行政改革。

答 総務課

ICT技術を活用した定型業務の効率化、デジタル化を効果的に進め、住民サービスの向上を図る。

問 学力向上体制。

答 教員

GIGAスクール構想を進めるため、ICT支援業務を充実。

児童生徒数の増加への対応は、特別支援教育指導員と小学校教育力カウンセラーを一人ずつ増員し、英語指導助手は派遣日数を増加した。

問 地域経済活性化。

答 建設課

新型コロナウイルス感染症の影響で、中小企業者が融資を受けた時の信用保証料の補助を、令和3年度も継続実施。

令和元年度のプレミアム付商品券事業・令和2年度のクーポン券事業は予定していない。クーポン券事業の効果を検証し必要と判断すれば補正予算で対応を検討。

ワクチン接種 個別接種で実施

新型コロナウイルス感染症がいまだ収束の兆しが見えない中、リスクの高い人々に接種することが喫緊の課題。

問 医療機関との連携。

答 町長

町医師団代表を始め、町内の医療機関と協議を行い、連携のうえで準備を進めている。

問 接種計画。

答 町長

町内医療機関に実施したアンケートの結果を基に、町内医療機関での接種能力を勘案し、医師と協議のうえ、個別接種で実施すると決定した。

問 ワクチン輸送・分配。

答 町長

空輸により運ばれたワクチンを国内の冷凍倉庫に移送し、そこから町に冷凍の状態配送される。

町は、冷凍庫にてワクチンを保管し、各医療機関へは、週2回程度、保冷バックで届ける。

分配は、ワクチン管理システムV-SYSにより一元管理され、町の必要量に対し、国からの供給量を踏まえて、県が本町への配分を決定。

町は、各医療機関の必要量に合わせて配分。

問 対象者への通知。

答 町長

高齢者へのクーポン発送は、4月中旬頃をめどとし、合わせて予約の受付が開始できるのではないかと考えられる。

決定次第、速やかに町広報、ホームページ等でお知らせする。

現在、医療従事者等への先行接種が開始されている。



新美三喜雄 議員
(新済会)

国土強靱化

災害から住民の生命を守る



国が平成26年より実施。コロナ禍により重要度がまし、本町でも令和3年度より国土強靱化地域計画案を策定中である。

問 国の国土強靱化計画の目的。

答 総 大規模自然災害時、人命と財産を守り、経済社会への被害が致命的にならず、迅速に回復する国土、経済社会システムを平常時から構築することを目的とする。

問 本町の地域計画案での重要項目。

答 総 町の強靱化の指針なので、本年度中の策定を進めている。災害から住民の生命を守ることを最優先事項とし、ハード事業とソフト事業を組み合わせた計画としている。

問 防災池・河川の管理の県と町の分担。

答 建 64力所の農業用ため池は、1力所を除き地元所有で地元管理である。町は、ため池台帳を整備し必要に応じ補修している。県に指定されたうち15力所の防災重点農業用ため池は、耐震性・洪水吐能力などを判断し県が改修を進める。

二級河川は、県が定めた河川整備計画により、整備が進められている。町管理の普通河川は、変状が確認されれば町で補修している。

問 土砂災害の危険区域は、どのように管理し解消に向け、どんな対策が必要か。

答 建 土砂災害については県が指定している土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域がある。民有地のかけ崩れ対策は、一定の条件が整えば、県が対策工事を行う。町としては、地域からの要望書をもとに県へ対策工事の要望を積極的に行っていく。

町政の充実

協働の仕組みづくり



より良い政策を推進するには、PDCAサイクルをより早く回し、PD…立案実行後のCA…分析アクションに力点を置くべきである。

問 令和2年度における重要度の高い3つの分析・アクションを挙げよ。

答 総 重要度評価が高い「道路・交通網」は、事務事業評価や実勢計画で優先順位を決め、計画的に整備を進めている。「交通安全・防犯」は、令和3年度に道路修繕に係る予算を拡充。「教育」は、町の特徴的な取り組みの幼保小中一貫教育を継続しながらSociety 5.0時代に対応できる教育環境整備に努める。

問 「町づくり懇談会」は住民との協働として重要な仕組みであるが、今後どのように工夫が必要か。

答 総 住民の声を直接聴くことができる貴重な機会であり、協働の仕組みづくりの手段としても重要なツールである。より効果的な開催方法を研究していく。

GIGAスクール

新たな環境づくりに意欲



ICT化の目玉としてGIGAスクール政策を実行中である。運用について様々な課題がある。

政策の目的。

問 「教育現場においてICT活用が進んでいない」という文部科学大臣メッセージの趣旨のもと、学校教育の段階から、子どもたち一人ひとりがICT技術を扱えるようにすることが目的。

問 新たな学習の場となる学校教育に対し教育長のビジョン。

答 教育長 インターネットを活用したICT教育は、日本の将来を担う人材の育成や、特別な支援を必要とするなどの多様な子どもたちを誰一人残すことのないようにするためのツールで、幼保小中一貫教育プロジェクトの理念に繋がる。

将来、阿久比町の学校で学んだ子どもたちが、Society 5.0時代のリーダーとして世界で活躍するビル・ゲイツやスティーブ・ジョブズとなることを、夢見ている。

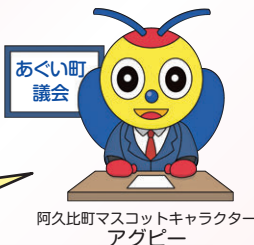
子どもたちの思考力や表現力を大きく伸ばすため、幼保小中一貫教育を実践していく中で、新たにICT教育への研究を加え、これまでの教育における大切なことは残しつつも、新学習指導要領へ対応できる、最先端の教育環境を整えていくことが、私の務めである。

SDGsとは？

Sustainable (持続可能な) Development (開発) Goals (目標)

だれ一人取り残さないようにするために、世界で取り組む17の共通目標

(2015年に国連の加盟国で決議され、2030年までに目標達成を目指す)



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう



16 平和と公平をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう

※1 ジェンダーとは、社会的・文化的な性別のこと。

※2 パートナーシップとは、みんなで力を合わせることをいいます。

「正しいごみの分別」
で未来の環境を
守ろう！

「支え合える
地域づくり」は、
ご近所とのお挨拶から！

安全で安心な
まちづくりを
みんなで考えよう！



未来のために今、何ができるか さあ！始めてみましょう！

次回定例会

6月9日(水) (開催予定)
午前10:00～

皆さんの傍聴を
お待ちしております

問い合わせ先

TEL 48-1111

FAX 48-1711

議会事務局へ

議長 都築清子
副議長 竹内秋男
委員 久保秋男
委員 小柳みゆき
委員 竹内卓美
委員 新美三雄

議会だより編集特別委員会

(都築清子)

議会だよりは、定例会終了後、制作に取りかかります。一般質問のページは、質問者が作りませんが、全体の紙面は、わかりやすい表現を心がけ、委員で編集を行います。より良くなるために、時には白熱した議論に発展すること度々。少しずつ紙面も進化しています。次号から新しい委員で編集することになります。多くの人に「読まれる」議会だよりを目指してまいります。

編集後記